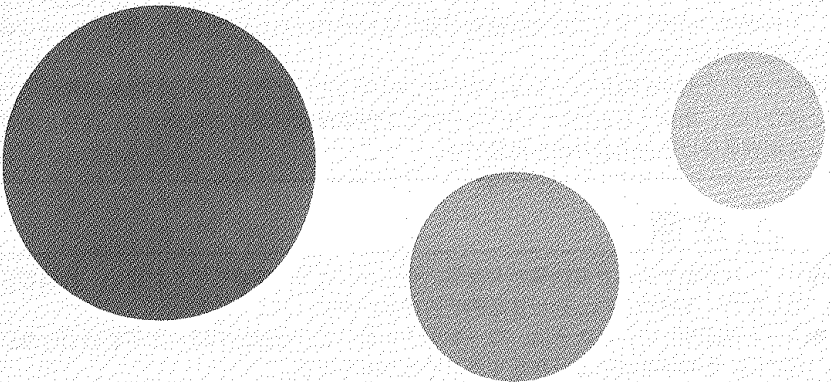




2

安全装備

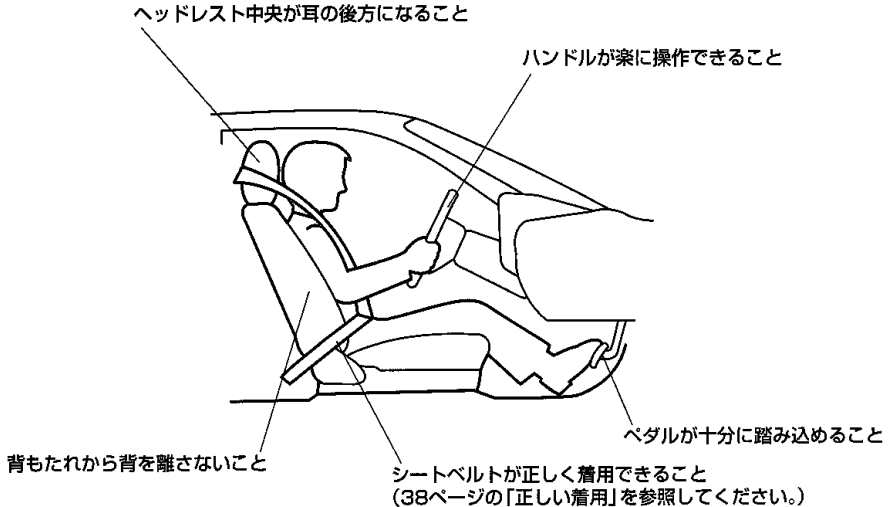
| | |
|---------------|----|
| ●シート | 28 |
| ●シートベルト | 38 |
| ●SRSエアバッグ | 46 |
| ●ABS | 53 |
| ●トラクションコントロール | 54 |



シート

正しい運転姿勢

正しい運転姿勢がとれるように次の事項に注意してシートを調整します。



⚠ 警告

- 走行中は運転席シートの調整をしないでください。シートが突然動き運転を誤り、思わぬ事故の原因となって重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。
- シートを調整したあとは、シートを軽く前後にゆさぶり確実に固定されていることを確認してください。固定されていないとシートが動き、思わぬ事故の原因となって重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。
- フロントシートの下に物を置かないでください。物がはさまってシートが固定されず、思わぬ事故の原因となって重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。また、ロック機構の故障の原因になります。
- 背もたれと背中の中にクッションなどをいれないでください。正しい運転姿勢がとれないばかりか、衝突したときシートベルトなどの拘束保護装置の効果が十分に発揮されず重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。

⚠ 注意

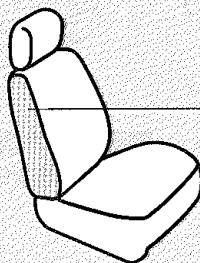
- シートを調整するときは同乗者や荷物に当たらないように注意してください。同乗者がけがをしたり、荷物をこわしたりするおそれがあります。
- シートを調整しているときは、シートの下や動いている部分の近くに手を近づけないでください。指や手をはさみけがをするおそれがあります。

フロントシート

⚠ 警告

- SRSサイドエアバッグ装着車では、フロントシートにこのお車専用のトヨタ純正用品以外を取りつけないでください。また、トヨタ純正シートカバー使用時には、商品に付属の取扱書をよくお読みになり、正しく取りつけてください。

このお車専用のトヨタ純正用品以外がシート側面のSRSサイドエアバッグ展開部をおおうと、SRSサイドエアバッグが正常に作動しなくなり重大な傷害を受けるおそれがあります。



SRSサイドエアバッグ展開部

- SRSサイドエアバッグ装着車では、フロントシート表皮の張り替えやフロントシートの取り付け、取りはずし、修理が必要なときは必ずトヨタ販売店にご相談ください。また、シートの改造などはしないでください。

フロントシートに内蔵されているSRSサイドエアバッグを不適切に扱おうと、正常に作動しなくなったり、誤ってぶくらし重大な傷害を受けるおそれがあります。

パワーシート

運転席

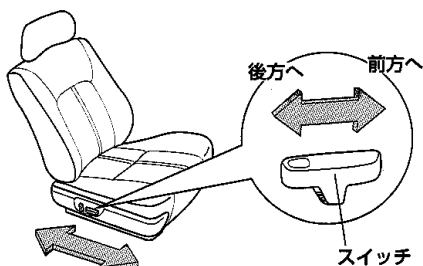


アドバイス

シートの前後位置、クッションの上下位置または背もたれの前後位置が終点まで移動したあとにスイッチを同一方向に押し続けしないでください。パワーシートの故障の原因になります。

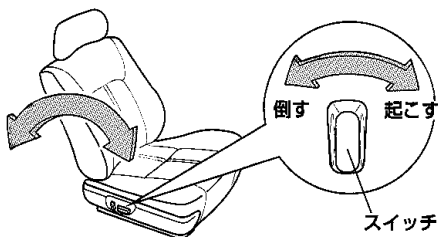
■前後位置調整

スイッチを前後に操作している間作動します。



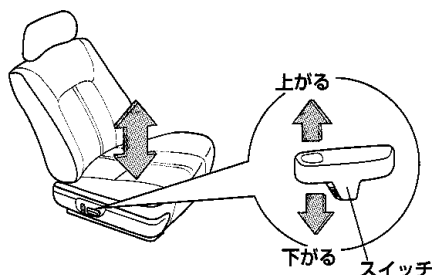
■リクライニング調整

スイッチを前後に操作している間作動します。



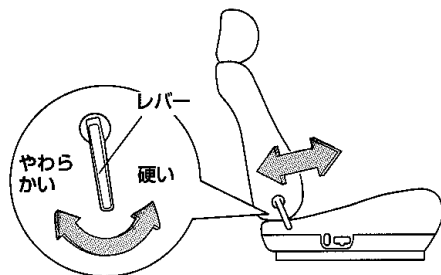
■クッションの上下調整

スイッチのうしろ側を上下に操作している間、シートクッションのうしろ側が上下に作動します。



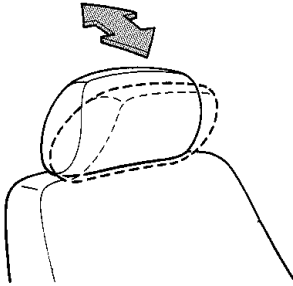
■腰部硬さ調整(ランバーサポート)

レバーを前後に動かして調整します。



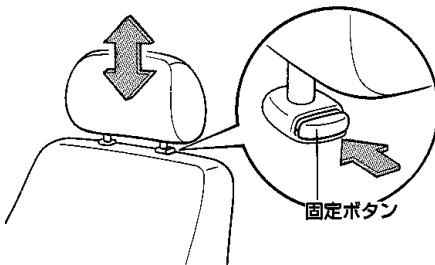
■ヘッドレスト前後位置調整

調整したい方向へ押し（または引き）ます。



■ヘッドレスト上下位置調整

- 上げるときはそのまま引き上げます。
- 下げるときは、固定ボタンを押したまま押し下げます。
- 取りはずすときは固定ボタンを押したまま引き抜きます。



⚠ 警告

ヘッドレストをはずしたまま走行しないでください。衝突したときなどに重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。走行前に必ず取りつけ、ヘッドレスト中央が耳の後方になるように高さを調整してください。

⚠ 注意

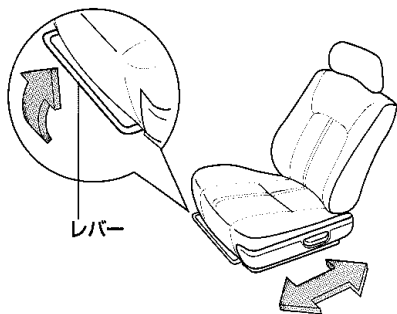
前席専用のヘッドレストです。取りつけるときは、カチッと音がして固定されたことを確認してください。前後のヘッドレストを間違えて取りつけると、固定することができず、衝突したときなどにけがをするおそれがあります。

マニュアルシート

助手席

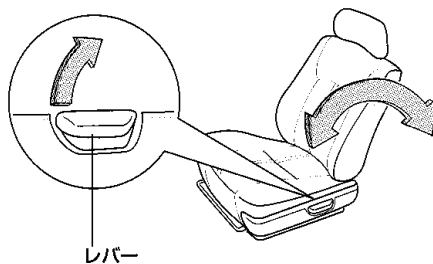
■前後位置調整

レバーを引いたままシートを前後に動かして調整します。調整後、シートを軽くゆさぶり確実に固定されていることを確認します。



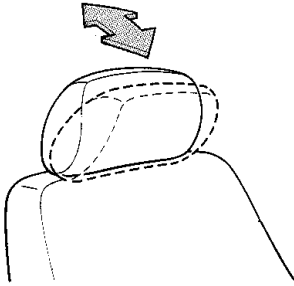
■リクライニング調整

レバーを引いたまま背もたれを前後に動かして調整します。調整後、背もたれを軽くゆさぶり、確実に固定されていることを確認します。



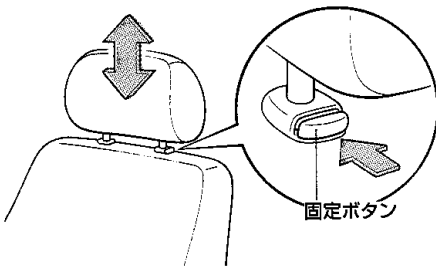
■ヘッドレスト前後位置調整

調整したい方向へ押し（または引き）ます。



■ヘッドレスト上下位置調整

- 上げるときはそのまま引き上げます。
- 下げるときは、固定ボタンを押したまま押し下げます。
- 取りはずすときは固定ボタンを押したまま引き抜きます。



⚠ 警告

ヘッドレストをはずしたまま走行しないでください。衝突したときなどに重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。走行前に必ず取りつけ、ヘッドレスト中央が耳の後方になるように高さを調整してください。

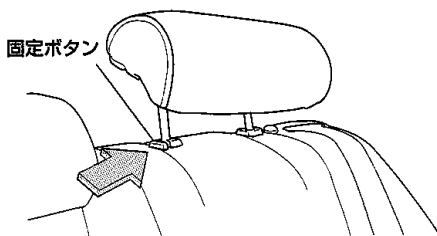
⚠ 注意

前席専用のヘッドレストです。取りつけるときは、カチッと音がして固定されたことを確認してください。前後のヘッドレストを間違っ取りつげると、固定することができず、衝突したときなどにけがをするおそれがあります。

リヤシート

■ヘッドレスト上下位置調整

- 上げるときはそのまま引き上げます。
- 下げるときは、固定ボタンを押したまま押し下げます。
- 取りはずすときは固定ボタンを押したまま引き抜きます。



⚠ 警告

ヘッドレストをはずしたまま走行しないでください。衝突したときなどに重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。走行前に必ず取りつけ、ヘッドレスト中央が耳の後方になるように高さを調整してください。

⚠ 注意

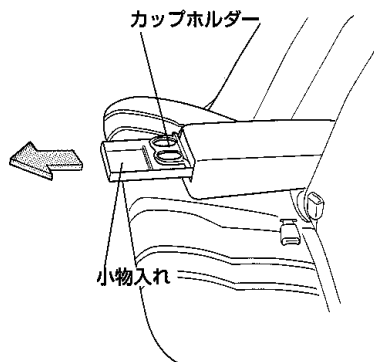
- 後席専用のヘッドレストです。取りつけるときは、カチッと音がして固定されたことを確認してください。前後のヘッドレストを間違えて取りつけると、固定することができず、衝突したときなどにけがをするおそれがあります。
- 中央のヘッドレストは中央席専用です。左右のヘッドレストを取りつけないように注意してください。

■アームレスト

中央席の背もたれ部分を手前に倒してアームレストとして使用できます。

小物入れ

アームレストを倒してフタを押し、引き出して使用します。



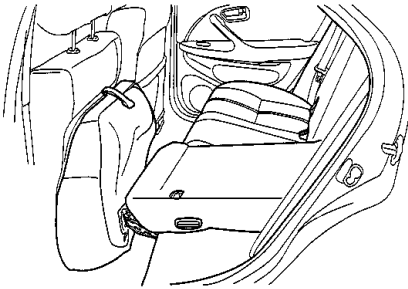
カップホルダー

- アームレストを倒してフタを押し、小物入れを最前部まで引き出します。
- 小物入れを収納すると、自動で収納されます。

ラゲージスペース

リヤシートのクッションを引き起こし、背もたれを倒せば、荷室として使用できます。

●左右に分割されているシートを、それぞれ倒すことができます。



⚠ 警告

倒した背もたれの上や荷室に人をのせて走行しないでください。急ブレーキをかけたときや衝突したときなどに重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。

⚠ 注意

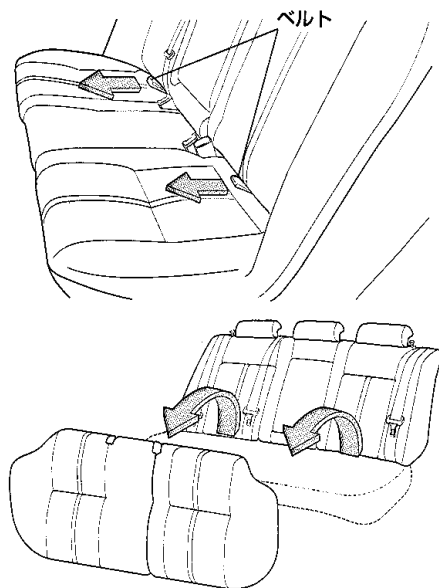
リヤシートを倒して荷物を積むときは、必ずシートクッションを起こし、背もたれを倒してから積んでください。背もたれだけを倒して荷物を積むと、急ブレーキで荷物が前方にとび出し、思わぬ事故につながるおそれがあります。

📖 知識

フロントシートがつかえてラゲージスペースが作りにくいときは、ヘッドレストをはずすか、フロントシートを前方に移動してください。

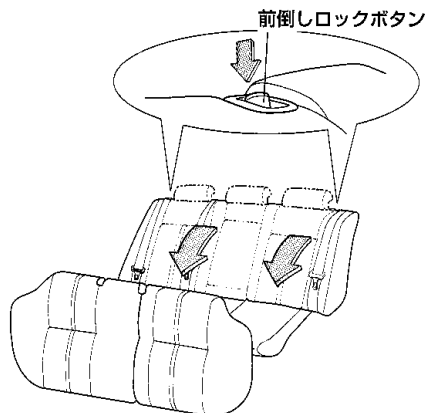
■倒すときは

- 1 クッションのベルトを手前（車両前方）に引いてシートクッションを起こします。



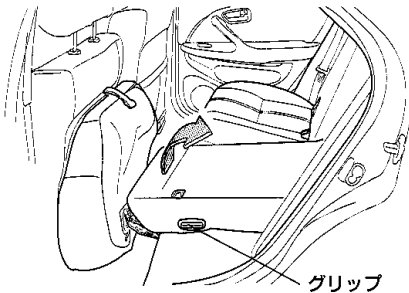
- 2 ヘッドレストの横にある左右それぞれの前倒しロックボタンを押して、ロックをはずし、背もたれを倒します。

●ロックがはずれているときは、赤色マークが見えます。

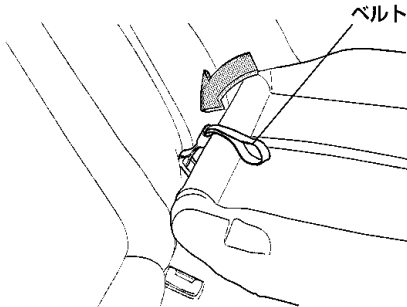


■もどすときは

- 1 グリップを持って背もたれを起こし、ロックします。
 - 確実に固定されたことを確認して下さい。



- 2 クッションのベルトが巻き込まれないように、クッションを確実にめ込みます。

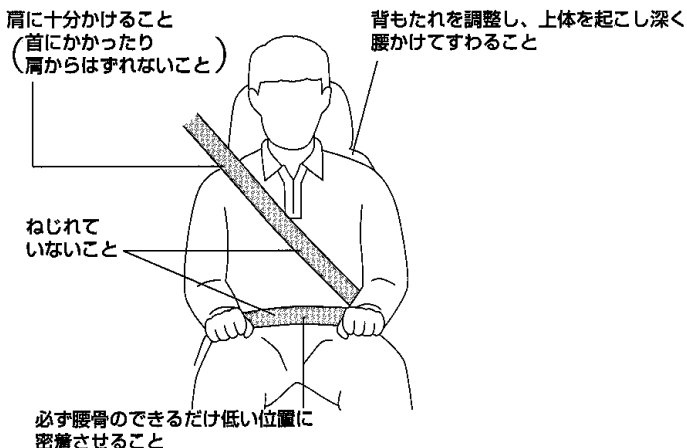
**⚠ 警告**

- シートをもとにもどしたときは、背もたれを軽く前後にゆさぶり確実に固定されていることを確認してください。固定されていないと急ブレーキ時などに背もたれが倒れたり、荷室内の荷物が飛び出すなど思わぬ事故につながり重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。
- シートをもとにもどすときは、シートベルトを挟み込まないようにしてください。シートベルトが傷つくおそれがあり、傷ついたまま使用すると衝突したときなどにシートベルトが十分な効果を発揮せず、重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。

シートベルト

正しい着用

シートベルトは正しく着用しないと効果が半減したり、危険な場合があります。次の使用方法にしたがって走行前に運転者は必ず着用し、同乗者にも必ず着用させてください。



⚠ 警告

- 車に乗る場合は、全員がシートベルトを着用してください。ベルトを着用しないと、急ブレーキをかけたときや衝突したときなどに重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。
- シートベルトを着用するときは必ず次のことをお守りください。守らないとシートベルトにより重大な傷害を受けたり、衝突したときなどにシートベルトが十分な効果を発揮せず、重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。
 - シートベルトは上体を起こして、シートに深く腰かけた状態で着用してください。正しい姿勢については「正しい運転姿勢」(28ページ)を参照してください。
 - 3点式シートベルトの肩ベルトは、首にかかったり脇の下を通したりして着用しないでください。必ず肩に十分かかるように着用してください。
 - シートベルトは必ず腰骨のできるだけ低い位置に密着させて着用してください。シートベルトが腰骨からずれていると衝突したときなどに腹部などに強い圧迫を受けるおそれがあります。
 - シートベルトはねじれがないように着用してください。ねじれていると衝突したときなどに衝撃力を十分に分散させることができません。
 - シートベルトは1人用です。2人以上で1本のベルトを使用しないでください。
 - シートベルトを着用する場合は洗たくばさみやクリップなどでたるみをつけないでください。
 - シートの背もたれを必要以上に倒して走行しないでください。衝突したときなどに体がシートベルトの下にもぐり、腹部などに強い圧迫を受けます。
 - ハンドルやインストルメントパネルに必要以上近づいて運転しないでください。

⚠ 警告

- シートベルトのバックルには異物はいらないようにしてください。異物がいるとプレートがバックルに完全にはまらない場合があり、衝突したときなどにシートベルトが十分な効果を発揮せず重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。
- お子さまでもシートベルトを必ず着用させてください。
ひざの上でお子さまを抱いていても、急ブレーキや衝突したときなどに十分に支えることができませんお子さまが重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。
- シートベルトが首やあごに当たる場合や腰骨にかからないような小さなお子さまはチャイルドシート、ジュニアシートを使用してください。使用しない場合、衝突したときなどに強い圧迫を受けシートベルトにより重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。また、ひとりすわりのできない小さなお子さまはベビーシートを使用してください。
なお、ベビーシートやチャイルドシート、ジュニアシートについてはトヨタ販売店にご相談ください。

〈選択の目安〉

| | 体重(kg) | 身長(cm) | 参考年齢 |
|----------|---------|--------|--------|
| ベビーシート | ～10未満 | 75以下 | ～12カ月 |
| チャイルドシート | 7～18未満 | 105以下 | 6カ月～4才 |
| ジュニアシート | 15～32以下 | 135以下 | 4才～10才 |

- ほつれ、すりきれができたり、正常に作動しなくなったシートベルトはすぐに交換してください。また、事故により強い衝撃を受けたり、傷のついたシートベルトは使用しないですぐに新品と交換してください。そのまま使用すると衝突などのとき正常に働かず、シートベルトが十分な効果を発揮せず重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。
- シートベルトの改造や取り付け・取りはずしなどをしないでください。衝突などのとき十分な効果を発揮せず重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。
シートベルトの取り付け・取りはずし、交換についてはトヨタ販売店にご相談ください。
- シートベルトの清掃にベンジンやガソリンなどの有機溶剤を使用しないでください。また、ベルトを漂白したり、染めたりしないでください。シートベルトの性能が落ち、衝突などのとき十分な効果を発揮せず重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。清掃するときは中性洗剤かぬるま湯を使用し、乾くまでシートベルトを使用しないでください。

⚠ 注意

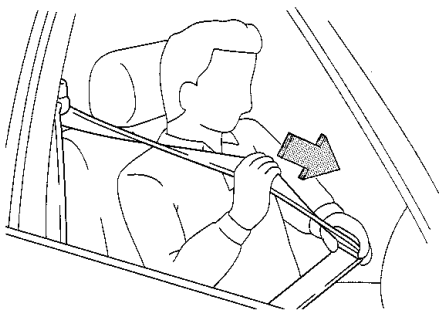
妊娠中の女性や疾患のあるかたがシートベルトを着用する場合は、衝突のとき腹部などに強い圧迫を受けるおそれがありますので、医師にご相談のうえご使用ください。

3点式シートベルト

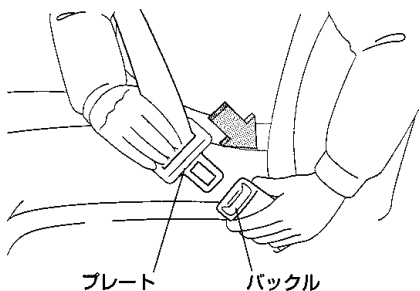
身体の動きにあわせて伸縮しますが、強い衝撃で体が前に倒れそうなどときには、ベルトが自動的にロックされ身体を固定します。

フロントシートベルトはシートベルト着用時に、ベルトによる肩への圧迫感が少なくなるベルト圧迫感減少装置がついています。

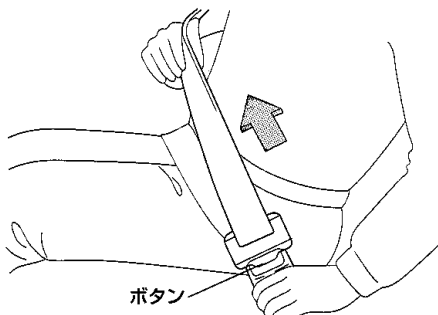
- ①プレートを持って引き出し、ねじれていないことを確かめます。
シートベルトがロックしたまま引き出せないときは、一度ベルトを強く引いてからベルトをゆるめ、再度ゆっくりと引き出します。



- ②プレートをカチッと音がするまでバックルに差し込みます。



- ③腰部ベルトは必ず腰骨のできるだけ低い位置にかかるとし、肩部ベルトを引き、腰部に密着させます。

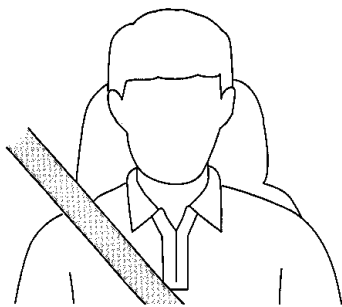


- ④肩ベルトは、必ず肩に十分かかるようにします。

このとき、ベルトが首に当たったり、肩からはずれないようにしてください。

フロントシートでは、アジャスタブルショルダーベルトアンカーでベルトの高さを調整します。

- アジャスタブルショルダーベルトアンカーの使い方は、次ページをご覧ください。



- ⑤はずすときはバックルのボタンを押します。

アジャスタブルショルダー ベルトアンカー

フロントシート

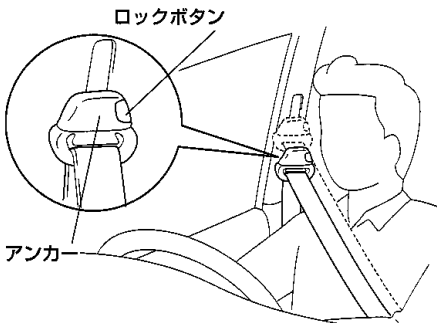
ベルトが肩に十分かかるようにベルトの高さを調整することができます。

ベルトが首に当たったり、肩からはずれて腕にかかってしまうときに使用します。

調整するときは、ベルトができるだけ肩の中央にかかるようにしてください。

下げるときはロックボタンを押したままアンカー部を下に動かし、上げるときはそのまま上に動かします。最適な位置で手を離します。

カチッと音がし、確実に固定されていることを確認します。



⚠ 警告

ショルダーベルトアンカーを調整するときは次のことをご守りください。守らないと衝突したときなどにシートベルトが十分な効果を発揮せず、重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。

- シートベルトが首に当たらないように、また肩の中央に十分かかるようできるだけ高い位置に調整してください。
- 調整したあとは、確実に固定されていることを確認してください。

フォースリミッター付 シートベルト

フロントシート

前面衝突時、ベルトにある一定以上の荷重がかかったときに作動し、それ以上荷重がかからないようにする装置です。

SRSエアバッグの作動と合わせて乗員の胸に加わる力を減少させます。



アドバイス

フォースリミッター付シートベルトは、事故などで強い衝撃を受けた場合再使用できません。

必ずトヨタ販売店で交換してください。

プリテンショナー付 シートベルト

フロントシート

プリテンショナー付シートベルトは、前席の乗員に重大な危害がおよぶような強い衝撃を車両前方から受けたときにベルトを引き込み、シートベルトの効果をより高める装置です。

シートベルトは正しく着用してください。(38ページ参照)

プリテンショナー付シートベルトは、運転席、助手席に装着されており、シートベルトを着用していなくても、SRSエアバッグが作動すると同時に作動します。

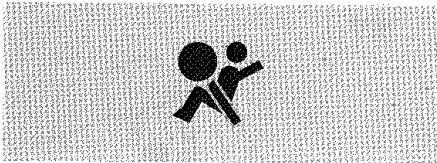
⚠ 警告

- プリテンショナー付シートベルトを着用するときは、必ず次のことをお守りください。
 - シートベルトを正しく着用する。(38ページ)
 - シートを正しい運転姿勢のとれる位置に調整する。(28ページ)
- プリテンショナー付シートベルトの取り付け・取りはずし、分解などをしないでください。また、プリテンショナー付シートベルトを修理するときは必ずトヨタ販売店で行ってください。プリテンショナー付シートベルトを不適切にあつかうと、正常に作動しなくなったり、誤って引き込み重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。

⚠ 注意

車やプリテンショナー付シートベルトを廃棄するときは必ずトヨタ販売店にご相談ください。プリテンショナー付シートベルトが思いがけなく作動し、けがをするおそれがあります。

■プリテンショナー警告灯 (兼SRSエアバッグ警告灯)



エンジンスイッチをONまたはACCにすると点灯し、数秒後に消灯します。

⚠ 注意

警告灯が次のようになったときはシステムの異常が考えられますので、ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。衝突したときなどにプリテンショナー付シートベルトが正常に作動せずけがをするおそれがあります。

- エンジンスイッチをONまたはACCにしても点灯しないとき。または点灯・点滅したままのとき。
- 走行中に点灯・点滅したとき。



アドバイス

プリテンショナー付シートベルトは一度作動すると再使用できません。プリテンショナーが一度作動したら、必ずトヨタ販売店で交換してください。

🎓 知識

- プリテンショナー付シートベルトは車両前方から強い衝撃を受けたときに作動します。次のような衝撃が弱いときには作動しません。
 - コンクリートの壁に約20km/h以下の速度で正面衝突したとき
 なお、次のような場合は作動する場合がありますが、本来の効果を発揮しません。
 - 側面や後方から衝撃を受けたとき
 - 車両が横転、転覆したとき
- プリテンショナー付シートベルトが作動すると作動音とともに白い煙のようなガスが発生しますが火災ではありません。また人体への影響もありません。

チャイルドシート固定機構付シートベルト

リヤシート

チャイルドシート固定機構付シートベルトが組み込まれています。

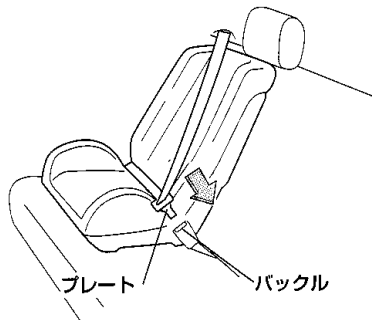
チャイルドシート固定機構を作動させると引き出し方向にベルトが動かないようにできるためチャイルドシートなどの取り付けができます。

■チャイルドシートの取り付け

1 チャイルドシートなどを取りつけます。

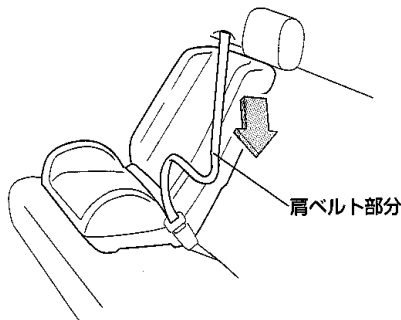
- 取り付け方は、それぞれの商品に付属の取扱書をご覧ください。

2 プレートをバックルにカチッと音がするまで差し込みます。



3 肩ベルトを止まるまでいっぱいにゆくり引き出します。

(チャイルドシート固定機構が作動します。)



4 チャイルドシートがしっかりと固定できるように肩ベルトを巻き取らせませす。

5 ベルトが引き出し方向に動かないことを確認します。

■チャイルドシート固定機構の解除

バックルをはずしてベルトをいっぱいまで巻き取らせるとチャイルドシート固定機構は解除します。

知識

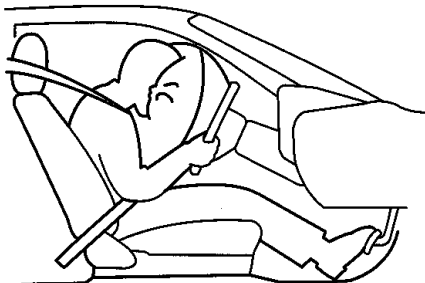
シートベルトを着用した状態で上体の大きな動きをしたときにチャイルドシート固定機構に切り替わる場合があります。そのときは一度バックルをはずし、ベルトをいっぱいまで巻き取らせてチャイルドシート固定機構を解除してから再度シートベルトを着用してください。

MEMO



SRS*エアバッグ

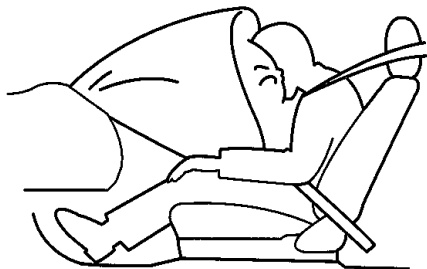
運転席SRSエアバッグ



運転席SRSエアバッグは、運転者に重大な危害がおよぶような強い衝撃を車両前方から受けたときにふくらみ、シートベルトが身体を拘束する働きとあわせて乗員の頭や胸などの上体に作用する衝撃力を分散、緩和させる機能をもちます。

シートベルトは必ず着用してください。
(38ページ参照)

助手席SRSエアバッグ



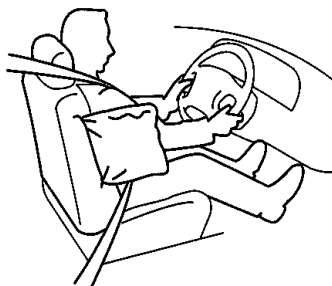
助手席SRSエアバッグは、乗員に重大な危害がおよぶような強い衝撃を車両前方から受けたときにふくらみ、シートベルトが身体を拘束する働きとあわせて乗員の頭や胸などの上体に作用する衝撃力を分散、緩和させる機能をもちます。

助手席SRSエアバッグは、助手席に人が乗っていない場合にもふくらみます。

シートベルトは必ず着用してください。
(38ページ参照)

★印はグレード等により装着の有無が異なります。

SRSサイドエアバッグ★



SRSサイドエアバッグは、前席乗員に重大な危害がおよぶような強い衝撃を車両客室部に側方から受けたときにふくらみ、シートベルトが身体を拘束する働きとあわせて前席乗員の胸などの上体に作用する衝撃力を分散、緩和させる機能をもちます。

SRSサイドエアバッグは、助手席に人が乗っていない場合にもふくらみます。

シートベルトは必ず着用してください。
(38ページ参照)

*SRSはSupplemental Restraint Systemの略で、乗員保護補助装置の意味

⚠ 警告

- シートベルトを正しく着用してください。

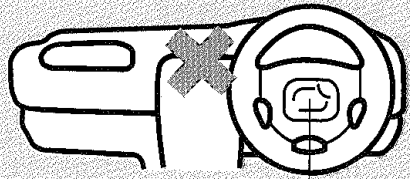
SRSエアバッグはシートベルトを補助する装置でシートベルトに代わるものではありません。

シートベルトを正しく着用しないと、SRSエアバッグの効果を発揮させることができません。助手席のかたがシートベルトを着用していないと、急ブレーキなどで前方に放り出されることがあり、その際に助手席SRSエアバッグがふくらむと、その強い衝撃で重大な傷害を受けるおそれがあります。

シートベルトの着用については38ページを参照してください。

- シートを正しい位置に調整してください。シートを正しい位置に調整しないと、SRSエアバッグの効果を発揮させることができません。衝突したときなどに重大な傷害を受けるおそれがあります。シートの調整については28ページを参照してください。
- 正しい姿勢でシートにすわってください。正しい姿勢ですわらないとSRSエアバッグの効果を発揮させることができません。また、運転席SRSエアバッグはハンドルに近づきすぎると、SRSエアバッグがふくらんだときに重大な傷害を受けるおそれがあります。正しい姿勢については28ページを参照してください。
- SRSエアバッグの取り付け・取りはずし、分解などをしないでください。また、SRSエアバッグを修理するときは必ずトヨタ販売店で行ってください。SRSエアバッグを不適切にあつかうと、正常に作動しなくなったり、誤ってふくらみ重大な傷害を受けるおそれがあります。

- パッド部をカバーやステッカーなどでおわなないでください。パッド部がおおわれていると、衝突したときなどに運転席SRSエアバッグを正常に作動させることができず重大な傷害を受けるおそれがあります。



ステッカー

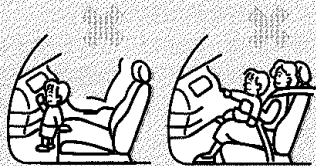
- 次のことを必ずお守りください。守らないとSRSエアバッグが正常に作動しなくなったり、誤作動につながり衝突したときなどに重大な傷害を受けるおそれがあります。
 - サスペンションを改造をしないでください。車高が変わったり、サスペンションの硬さが変わるとSRSエアバッグの誤作動につながるおそれがあります。
 - 車両前部にグリルガードやウインチなどを装着する場合はトヨタ販売店にご相談ください。車両前部の改造をするとSRSエアバッグが正常に作動しなくなるおそれがあります。
 - 車両前部、および、SRSサイドエアバッグ装着車では車両客室側面部を修理するときには、必ずトヨタ販売店で行ってください。SRSエアバッグが作動するためのセンサーがついているため、不適切な修理を行うと正常に作動しなくなります。
 - 無線機の電波などは、SRSエアバッグを作動させるコンピューターに悪影響を与えるおそれがありますので無線機などを取りつけるときは、トヨタ販売店にご相談ください。

⚠ 警告

- SRSエアバッグがふくらんだあとに、SRSエアバッグ構成部品に触れないでください。SRSエアバッグがふくらんだあとは、構成部品が大変熱くなっていますので、やけどなど重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。
- 助手席SRSエアバッグおよびSRSサイドエアバッグ装着車では必ず次の注意事項をお守りください。

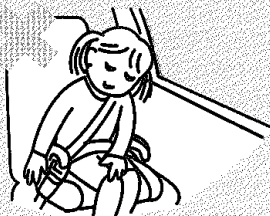
- シートの前端にすわったり、インストルメントパネルにもたれかかったりしないでください。また、お子さまをSRSエアバッグの前に立たせたり、ひざの上にだいたりしないでください。

助手席SRSエアバッグは瞬時に車室内に大きくふくらみますので、SRSエアバッグがふくらんだときの強い衝撃で重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。



- シートベルトを正しく着用できない小さなお子さまは、チャイルドシート、ジュニアシートを使用してください。使用しない場合、SRSエアバッグがふくらんだときの強い衝撃で重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。

- SRSサイドエアバッグ装着車では、フロントドア近辺にもたれかからないでください。SRSサイドエアバッグがふくらんだときの強い衝撃で重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。

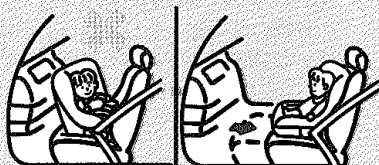


- 助手席にベビーシートを取りついたり、チャイルドシートをうしろ向きに取りつけないでください。ベビーシート、チャイルドシートの背面が助手席SRSエアバッグに近づきすぎると、助手席SRSエアバッグがふくらんだときの強い衝撃で重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。

やむを得ず助手席にチャイルドシートやジュニアシートを取りつける場合には、助手席SRSエアバッグから遠ざけるためにシートをいちばんうしろの位置にして、チャイルドシートは前向きに取りつけてください。

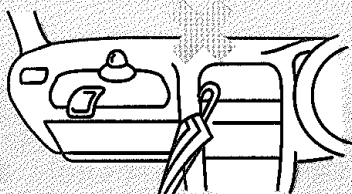
またSRSサイドエアバッグ装着車では、チャイルドシートやジュニアシートを使用してもお子さまがフロントドア近辺にもたれかからないようにしてください。

SRSサイドエアバッグがふくらんだときの強い衝撃で重大な傷害を受けるおそれがあり危険です。

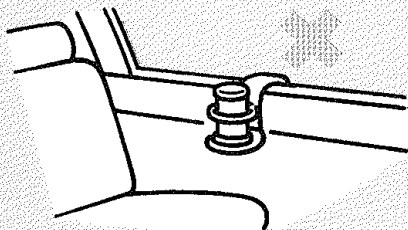


⚠ 警告

- インストルメントパネル上部に芳香剤など物を置いたり、傘などを立てかけたりステッカーなどでおおったりしないでください。助手席 SRSエアバッグがふくらんだときに飛ばされたり、助手席 SRSエアバッグが正常に作動しなくなったりして重大な傷害を受けるおそれがあります。

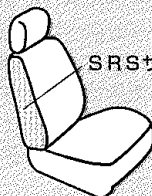


- SRSサイドエアバッグ装着車では、フロントドアやその周辺にカップホルダーなどのアクセサリー用品を取りつけないでください。SRSサイドエアバッグがふくらんだときに飛ばされたり、SRSサイドエアバッグが正常に作動しなくなったりして重大な傷害を受けるおそれがあります。



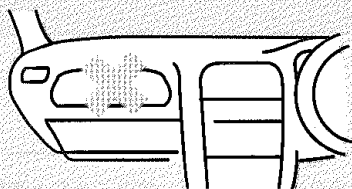
- SRSサイドエアバッグ装着車では、フロントシートにこのお車専用のトヨタ純正用品以外を取りつけないでください。またトヨタ純正シートカバー使用時には、商品に付属の取扱書をよくお読みになり、正しく取りつけてください。このお車専用のトヨタ純正用品以外がシート側面のSRSサイドエアバッグ展開

部をおおると、SRSサイドエアバッグが正常に作動しなくなり重大な傷害を受けるおそれがあります。



SRSサイドエアバッグ展開部

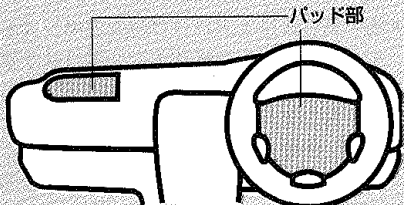
- 助手席 SRSエアバッグ付近のインストルメントパネルを修理または取りはずすときはトヨタ販売店にご相談ください。SRSエアバッグを不適切にあつかうと正常に作動しなくなったり、誤ってふくらみ重大な傷害を受けるおそれがあります。



- SRSサイドエアバッグ装着車では、フロントシートの表皮の張り替えやフロントシートの取り付け、取りはずし、修理が必要なときは必ずトヨタ販売店にご相談ください。また、シートの改造などはしないでください。フロントシートに内蔵されているSRSサイドエアバッグを不適切に扱うと、正常に作動しなくなったり、誤ってふくらみ重大な傷害を受けるおそれがあります。

⚠ 注意

- 車やSRSエアバッグを廃棄するときには必ずトヨタ販売店にご相談ください。SRSエアバッグが思いがけなく作動し、けがをするおそれがあります。
- SRSエアバッグが収納されているパッド部に傷がついていたり、ひび割れがあるときはそのまま使用せずトヨタ販売店で交換してください。衝突したときなどにSRSエアバッグが正常に作動せずけがをするおそれがあります。



アドバイス

SRSエアバッグは一度ふくらむと再使用できません。必ずトヨタ販売店で交換してください。

■SRSエアバッグ警告灯 (兼プリテンショナー警告灯)



エンジンスイッチをONまたはACCにすると点灯し、数秒後に消灯します。

⚠ 注意

警告灯が次のようになったときはシステムの異常が考えられますので、ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。衝突したときなどにSRSエアバッグが正常に作動せずけがをするおそれがあります。

- エンジンスイッチをONまたはACCにしても点灯しないとき。または、点灯・点滅したままのとき。
- 走行中に点灯・点滅したとき。

知識

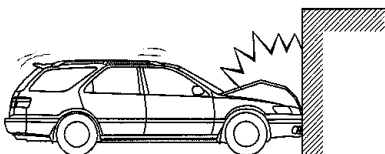
●衝突により車両が大きく変形しても、衝撃吸収ボデー構造*により乗員への衝撃は大きくならない場合がありますので、車両の変形、損傷とSRSエアバッグの作動とは必ずしも一致しません。

*衝撃吸収ボデー構造は、衝突時の衝撃をボデーを変形させることにより吸収します。

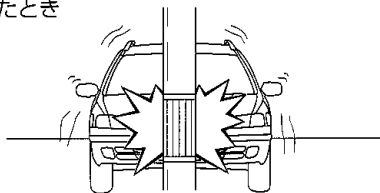
●運転席・助手席SRSエアバッグは強い前面衝突時において、SRSサイドエアバッグは強い側面衝突時において、シートベルトが身体を拘束する働きとあわせて乗員の頭や胸などの上部が受ける重大な傷害を軽減する装置です。したがってシートベルトを正しく着用している乗員が重大な傷害を受けるおそれのない衝突では、SRSエアバッグは作動しにくくなっています。

●運転席・助手席SRSエアバッグは衝突によりボデーが車両前方から強い衝撃を受けたときに作動します。例えば、次のようなボデーが受ける衝撃が弱い場合には、運転席・助手席SRSエアバッグは作動しません。

●衝突時に変形、移動しないコンクリートのような固い壁に約20km/h以下の速度で正面衝突したとき



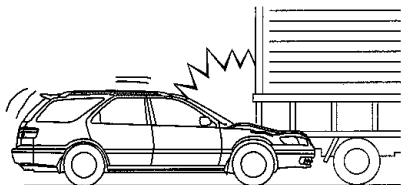
●衝突時に変形、移動しない電柱や立木などに約30km/h以下の速度で正面衝突したとき



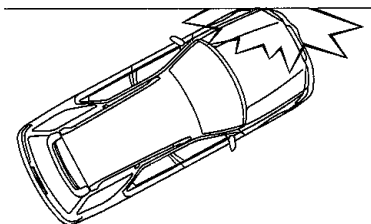
●衝突したものが変形したり移動した場合は、衝突による衝撃が緩められるため、運転席・助手席SRSエアバッグの作動する車速は高くなります。例えば、停車中の同程度の重さの車への衝突の場合には、約50km/h程度の速度であっても運転席・助手席SRSエアバッグは作動しないことがあります。

●次のような場合も衝突による衝撃が緩められるため、運転席・助手席SRSエアバッグが作動しないことがあります。

●トラックの荷台下へもぐりこみ衝突したとき



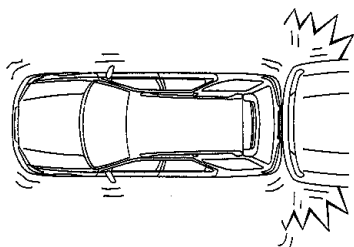
●前方の斜めの方向から衝撃を受けたとき



知識

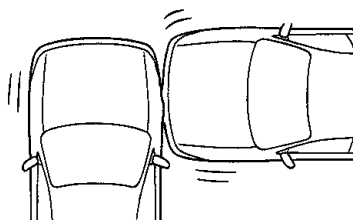
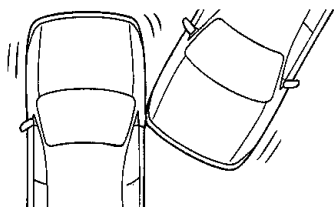
●次のような場合は、運転席・助手席SRSエアバッグが作動する場合がありますが、本来の効果を発揮しません。

- 側面や後方から衝撃を受けたとき



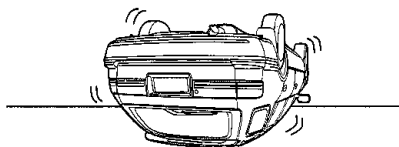
●SRSサイドエアバッグは衝突により客室部ボデーが車両側方から強い衝撃を受けたときに作動します。例えば次のような客室部ボデーが受ける衝撃が弱い場合には、SRSサイドエアバッグは作動しないことがあります。

- 側面に斜めの方向から衝撃を受けたとき
- 客室部以外の側面に衝突されたとき



●次のような場合はSRSエアバッグが作動する場合がありますが、本来の効果を発揮しません。

- 車両が横転、転覆したとき



●SRSエアバッグは非常に速いスピードでふくらむため、SRSエアバッグとの接触により打撲やすり傷などが発生することもあります。

●SRSエアバッグが作動すると作動音とともに白い煙のようなガスが発生しますが火災ではありません。

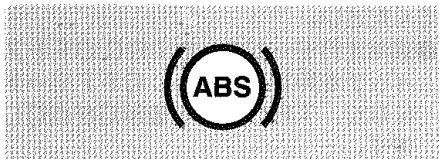
また人体への影響もありません。

●一度作動したSRSエアバッグは、2回目以降の衝突では再作動しません。

ABS

ABSは急制動やすべりやすい路面での制動時におこる車輪のロックを自動的に防止することにより、車両の方向安定性や操舵性を確保しようとする装置です。

■ABS警告灯



- エンジンスイッチをONにすると点灯し、数秒後に消灯します。
- ABS警告灯が点灯しているときは、ABSは作動しませんが通常のブレーキとしての性能は確保されています。



アドバイス

警告灯が次のようになったときはシステムの異常が考えられます。ただちにトヨタ販売店で点検を受けてください。

- エンジンスイッチをONにしても点灯しないとき、または点灯したままのとき
 - 走行中に点灯したとき
- なお、走行中に点灯しても、その後消灯し再度点灯しなければ正常です。



知識

ABS警告灯が点灯しているときは、ABSが作動しないため、急制動やすべりやすい路面での制動時には車輪がロックすることがあります。

⚠注意

- ABSを過信しないでください。
ABSが作動した状態でも車両の方向安定性や操舵性の確保には限界があり、思わぬ事故につながるおそれがあります。常に安全運転に心がけてください。
- 次の場合などは、とくに速度をひかえめにして車間距離を十分とってください。
ABSのついていない車両に比べて制動距離が長くなることがあります。
 - ジャリ道、新雪路を走行しているとき
 - タイヤチェーンを装着しているとき
 - 道路の継ぎ目などの段差を乗り越えるとき
 - 凹凸道や石だたみなどの悪路を走行しているとき

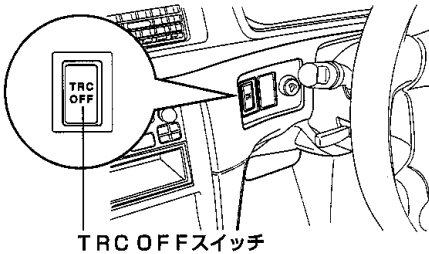


知識

- ブレーキを踏んだとき、作動音とともにペダルが小刻みに動くことがあります。これはABSが正常に作動しているときの現象で異常ではありません。さらにブレーキペダルを強く踏み続けてください。
- エンジン始動時や始動後の発進直後にエンジンルームからモーター音が聞こえることがあります。これはシステムの作動をチェックしている音で異常ではありません。
- ABSは、発進後車速が約10km/hになるまで作動しません。また、車速が約5km/hまで下がると作動をやめます。

トラクションコントロール★

トラクションコントロールは、すべりやすい路面での発進や加速時に生じる前輪の空転を抑制し、車両の安定性と前輪の駆動力を確保する装置です。エンジンスイッチをONにするとシステム作動可能状態になります。



TRC OFFスイッチ

■ 通常走行モード

システム作動可能状態です。通常走行では、できるだけこのモードで使用してください。

- 表示灯は点灯しません。
- エンジン始動時にはこのモードになっています。
- 走行中にトラクションコントロールシステムが作動すると、スリップ表示灯が点滅し、前輪の空転を制御していることを示します。

■ OFFモード

システム作動停止状態です。ぬかるみ、新雪などからの脱出するときに、トラクションコントロールの作動により、アクセルペダルを踏み込んでもエンジンの出力が上がらず、脱出困難なときに使用してください。

- 通常走行モードのときTRC OFFスイッチを押すと、TRC OFFモードになり、TRC OFF表示灯が点灯します。
- 通常走行モードにもどすときは、TRC OFFスイッチをもう一度押します。(表示灯が消灯します。)

⚠ 注意


トラクションコントロールを過信しないでください。トラクションコントロールが作動した状態でも車両の方向安定性の確保には限界があり、思わぬ事故につながるおそれがあります。常に安全運転に心がけスリップ表示灯が点滅したときはとくに慎重に運転してください。

🎓 知識

- トラクションコントロールが正常に作動しているときは、車両の振動を感じることがありますが、これはブレーキ制御によるもので異常ではありません。
- エンジンを始動するとエンジンルームから「カチカチ、トン」などの音がしますが、これはトラクションコントロールの作動をチェックしている音で、異常ではありません。

★印はグレード等により装着の有無が異なります。

■スリップ表示灯、TRC OFF表示灯

| スリップ表示灯 | TRC OFF表示灯 |
|---|---|
|  | <p style="text-align: center;">TRC OFF</p> |

- スリップ表示灯およびTRC OFF表示灯は、エンジンスイッチをONにすると点灯し、数秒後に消灯します。
- 走行中にトラクションコントロールシステムが作動すると、スリップ表示灯が点滅し、前輪の空転を制御していることを示します。



アドバイス

スリップ表示灯、TRC OFF表示灯が次のようになったときはシステムの異常が考えられます。走行上支障はありませんがトヨタ販売店で点検を受けてください。

- エンジンスイッチをONにしても点灯しないとき。
- TRC OFF表示灯が点滅したままのとき。
- トラクションコントロールが作動可能状態でTRC OFF表示灯が点灯したままのとき、または走行中に点灯したとき。

なお、走行中に点灯しても、その後消灯し、再度点灯しなければ正常です。

MEMO

